

## 研修キャラバン（第8回）

第7回機械・産業遺産ツアーと合同企画として開催。

### 機械・産業遺産ツアー

今年度も7－9回の3回のツアーを実施した。以下にその概要を記す。

#### 第7回 5月27日（火） 旧豊郷小学校および龍が池・砂山池揚水機場、能登川水車資料館および大水車、安土城考古博物館および信長の館 23名参加

「水との関わり」をテーマに第8回研修キャラバン（バス利用）を兼ねて実施した。旧豊郷小学校は白亜の堂々たる風格の小学校（ヴォーリス建築）で建設当時東洋一と言われた建物である。教室でまず龍が池・砂山池揚水機場の歴史的説明－明治の終わりの大干害を機に立ち上がった農民が日本で最初の動力（蒸気ポンプ）による揚水のため不眠不休の工事を行ったなど－を受け、保存されているポンプを見学した（コンケロールポンプ、写真1）。銘板等によると、1910年に英国 Bedford の W.H.Allen Sons & Co.Ltd.で製造された遠心型ポンプである。イギリスより輸入された後、1910年6月には龍が池および砂山池で試運転され、1913年11月に竣工式を迎えている。1923年9月には、動力が電力に変更され、役割を終えたとのことである。保存状態は大変良く、蒸気による駆動機構についての質問などがあった。その後、当地のガイド2名に連れられて、砂山池揚水機場および龍が池揚水機場を見学した。龍が池揚水機場ではポンプ室にも入室したが、前日の雨のために残念ながら揚水はしていなかった。

岡村本家遊亀亭での昼食と金亀酒蔵（安政元年創業）の見学後、昼からは能登川の水車資料館を訪れた。ここには水車活用のシンボルとして直径約13mの大水車が復元されている（写真2）。その後、安土城考古博物館に移った。「安土城への道～聖地から城郭へ」が開催中で最初に催し物の全体的な説明があった。特別展および常設展の見学後、近接する信長の館（安土城天守の復元）を三々五々訪れた。

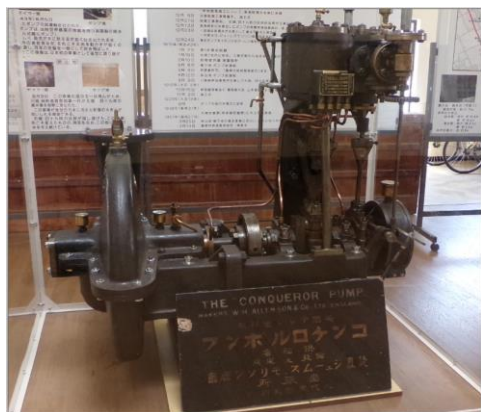


写真1 コンケロールポンプ



写真2 能登川の大水車（直径約13m）

#### 第8回 9月25日（金）オムロンコミュニケーションプラザ 25名参加

日本機械学会指定機械遺産で世界初の自動改札システムの見学と、同システムの機構、最近の状況等について話を聴く事を主とし、合わせて オムロングループの歴史、経営理念、最近の技術などについての見聞を広げた。自動改札システムに関しては、最初にメカ的な機構とその制御について、歴史的な流れも含めた詳細につき担当者より講演いただいた。その後、機械遺産に指定された世界初のシステム（写真1）を見学するとともに、機構と切符の動きが観察できるモデルによる実演を見学したが、ここでも多くの質疑応答が繰り返された。「歴史のフロア」、「技術のフロア」では、

オムロングループの技術と社会に対する姿勢、経営理念と、リミットスイッチ等から始まり、社会システム、健康医療、自動車、エネルギー管理等々の領域で使用される様々な製品・システムへの発展の経緯を知ることが出来た（写真2）。また、オムロンヘルスケア（株）からは、計測技術を駆使した健康状態の見える化、定量化について講演いただいた。特に血圧測定技術と刻々変化する測定データの解析、健康評価の手法に関しては、シニア会員にとって身近な問題であり、関心を呼んだ。



写真1 機械遺産の自動改札システム



写真2 歴史・技術のフロア見学

### 第9回 2015年2月25日（水）尼崎閘門（尼ロック） 29名参加

日本最大の閘門（スエズ式、愛称：尼ロック）と東浜排水ポンプ場を見学し、当該設備が建設された歴史的背景、完成後の役割、さらに将来危惧されている東南海地震による津波被害に対する対策等について、見聞を広げることがを目的として訪問した。先ず平成になって逐次建設された現在の閘門の構造、規模等についてまた東浜排水ポンプ場の排水能力等について説明を受けた。引き続き、尼崎工業地帯を水害から守るために尼崎閘門の建設を余儀なくされた歴史的背景、戦前・戦後の構想・設計・建設の様相を記録したビデオを鑑賞した。特に明治時代から工業都市として目まぐるしい発展をした一方で、昭和初期から地下水汲み上げによる地盤沈下が徐々に進行し、昭和時代に重工業地帯として大きく発展してきた代償として、2-3mにもなる地盤沈下が市内の面積の3分の1をゼロメートル地帯にし、結果として日本にやってきた大型の台風や高潮、大雨で洪水、内水氾濫が襲った状況が放映された。工業の復活、内水氾濫・洪水から町を守るために、数10kmの防潮堤、水門、排水ポンプ場および船舶の出入りを可能にする閘門が建設される工事現場の様相が紹介された。

その後、2班に分かれて幅17m、長さ90mの閘室を有する閘門（写真）と毎秒72トンの排水能力を持つ排水ポンプ場を見学した。



第1閘門を通過する貨物船